

## 山と潟を愛し 山と潟に生きる！

〈令和3年11月15日 小中連携「食育ミニフォーラム」閉会の挨拶〉

今回、新潟水辺の会・鳥屋野潟がってんプロジェクトチームの相楽治様より、『食べて身体(からだ)も潟も元気になる』というテーマで、貴重な話をお聞きする機会をいただきました。

具体的には、鳥屋野潟での『空芯菜』の栄養面の特長、栽培に関する取組の歴史や現状と課題など、たいへん興味深い内容でした。

さて、桜が丘小4年生、山潟小学校5年生、山潟中学校の1年生の皆さんは、今日の話聞いて、どのような思いをもったのでしょうか？

私は、率直に、皆さんは本当にすばらしい地域に生まれ育ってとても幸せだなあという、羨ましい思いで、ずっと話を聞いていました。

この山潟地区が、自然にとっても恵まれた地域であること、その自然の恵みに支えられながら、私たちの体や健康を支えてくれる特徴のある誇るべき地域の産物があること、そして、地域の特色を生かしながら、ものづくり、人づくり、絆づくりに汗をかき、地域を愛するために活動している人がたくさんいることが、あらためて分かったからです。

鳥屋野潟の自然に触れるということは、地域のありがたみを直に体感することであり、鳥屋野潟の自然を守ることは、地域への愛情をさらに深めることであり、「空心菜」のような地域の食材を味わうということは、地域の良さを噛みしめるということだと思います。

そして、人間が生きていく上で不可欠なものとして「衣・食・住」とよく言われますが、その中でやはり一番大切なものは食べることです。

健康で幸せな人生を歩むためにも、今日のような話をきっかけにし、また参考にしながら、自分自身で、食べることの正しい知識・習慣、望ましい食生活のあり方、食生活を自分で管理ができるような態度を身に付けてほしいと思っています。

これからも、各学校で、総合学習をはじめとする、食に関する学習や地域学習に熱心に取り組むことを大いに期待しています。

自然の恵みに感謝し！いつも食事をつくってくれる家族に感謝し！三度三度食事をとれる当たり前の日々感謝し！そして、でき得ることなら、食事やお弁当も自ら作れる自立した自分をめざして！